

2025 年度事業計画書

一般社団法人 Mfisea

内容

事業目的	2
事業内容	3
1. 海での海洋学習体験	3
2. 清掃活動	3
3. 体験学習会	3
補足：清掃活動（離島） 課題認識及び活動の方向性	3
収支予算	5

事業目的

（解決したい社会課題・問題点）

我々 Mfisea は、「豊かな海を未来に」を理念として掲げ、海洋問題に日々取り組んでいます。「四方を海で囲まれることにより、長年その恩恵を受け続けてきた日本ですが、海洋ごみ問題や世界的な水産資源の乱獲などの影響で豊かな海を維持することができない状態になりつつあります。我々が享受し続けてきた豊かな海は、日本の食を支える命の大切な土台でもあります。一度枯渇してしまった資源は取り戻すことができません。未来をささえていく子供たち、そのまた子供たちに、この豊かな海を受け継いでいきたい。そんな想いで活動しています。※プラスチックごみ問題一つとっても、2050 年にはプラごみの量が海の生物の量を超える、毎年ジャンボジェット機 2 万機分(800 万トン)のプラごみが流出している、など人類の文明の進歩とともに海洋問題は深刻化しております。

（実現したいこと）

そのために、Mfisea は、「豊かな海を未来に」を理念に活動をしております。海を愛する心を育むための活動等を推進しています。まずは海のことを好きになってもらい、海洋問題を自分ごとにする。それによって活動に関わった一人ひとりが海を守る一人になることを願って活動しております。

（活動方針）

戦略：『海を愛する心を育む海洋保護活動』

- ・ 幼少期において、海と繋がりを感じられる体験をすること、それが
- ・ 環境配慮型の人材を育てること、につながる
- ・ つまり、未来の海を守る人材を輩出することにつながり、
- ・ 結果、海洋問題を解決すること、につながる

つまり、海と繋がりを感じられる体験と環境問題を掛け合わせたイベントを実施することにより、海を愛する想いを持つ人材を育て、結果未来の海洋問題を解決することにつながようと考えております。最終的には、単なるビーチクリーン団体というかたちではなく、海洋問題を解決するソリューションを生み出していきたいと考えております。

（活動目標）

（１）上位目標

対面活動と共に SNS を活用したインタラクティブな発信を通じて以下目標達成を目指す

- ・ 海を愛する気持ち・大切に想う気持ちを醸成する
- ・ 世界の海が直面している課題認識の場を広げる
- ・ 日本の未来を支える人材に海を愛する心や綺麗にする気持ちを育む

事業内容

1.海での学習体験

- (1)時期:2025 年 6 月～2026 年 3 月 (2 回)
- (2)場所:大分県(臼杵市、日出町)
- (3)参加者:20 名(親子 各回 10 名)
- (4)内容：a.漁業者による魚釣り体験 b. 海洋ごみ問題に関するワークショップ

2.清掃活動

- (1)時期:2025 年 7 月～2026 年 3 月(5 回)
- (2)場所:九州の離島（壱岐島、対馬島）、大分県内海岸
- (3)参加者:250 名(親子 各回 50 名)
- (4)内容:離島での清掃活動

3.体験学習会

- (1)時期:2025 年 7 月(1 回)
- (2)場所:大分県別府市
- (3)参加者:30 名(小学生を中心とした親子)
- (4)内容: a.専門家による海洋ごみ問題に関するワークショップ、 b.画家の指導による海洋アートの創作

補足：清掃活動（離島） 課題認識及び活動の方向性

【課題認識】

- ・日本の多くの離島は、海流や風（季節風・大陸風等）の影響で漂着（漂流）ごみ問題が発生しやすい状況にある
- ・韓国、台湾、中国製とみられるプラスチック、発砲スチロール、ペット・ボトル、ポリ容器等が、九州や日本海側の離島に漂着している
- ・特に、対馬海流の影響や、特に北西の季節風が吹きつける冬場に大量に漂着するようになっている
- ・九州近海の離島は豊富な漁場としても知られており、日本の食生活を支える土台でもある。海洋生物の中には、人工のごみとエサの区別ができずに、間違えてプラスチックを飲み込んでしまうものもいる。こうした誤飲・誤食を繰り返す個体は、ごみが、胃などの消化器にたまり続け、エサを食べることができなくなり、死んでしまう場合もある。マイクロプラスチックを食べ続けた魚を人が食べた場合に、生物濃縮された魚であれば、余計に発がん性の原因にもなりえるし、良いことはない

【活動の方向性】

・簡単に片づけられる話ではなく、漂流ごみを簡単にはなくすことはできない。一方で、より多くの方々に課題認識をもってもらおうということこそが、解決の一步につながる。特に過疎化が進んでいる島民だけでこの問題を解決することはできず、特に島民以外からの参加をより増やすこと、親子付けや学生を巻き込んだ仕掛けづくりが重要であると考えている。

・Mfisea としては、「日本の美しい離島を守りたい」、「この美しい日本の海を守りたい」という気持ちを醸成し、敷いては「豊かな海を未来に」受け継ぎたいという気持ちを育むため、各離島の名所や美しい風景を撮影・発信するとともに、汚れた現状を発信することでより多くの人に課題認識をもってもらおう活動を継続する。

収支予算

2025 年度収支予算書

科目	予算額 (A)
I 経常収益	
1. 受取会費	
正会員受取会費	60,000
賛助会員受取会費	240,000
2. 受取寄付金受取寄付金	
受取寄付金	200,000
3. 受取助成金等	
受取助成金	1,900,000
受取補助金	300,000
経常収益計	2,700,000
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費	
役員報酬	0
給料手当	0
法定福利費	0
福利厚生費	0
人件費計	0
(2) その他経費	
委託費	1,338,000
消耗備品費	365,000
印刷製本費	30,000

旅費交通費	478,000
会議費	260,000
広告宣伝費	0
諸謝金費	150,000
その他経費計	2,621,000
事業費計	2,621,000
2. 管理費	
(1) 人件費	
役員報酬	0
給料手当	0
法定福利費	0
福利厚生費	0
人件費計	0
(2) その他経費	
会議費	0
委託費	0
旅費交通費	0
支払手数料	0
支払保険料	0
消耗備品費	0
印刷製本費	0
地代家賃	340,000
広告宣伝費	0
通信費	50,000
その他経費計	390,000
管理費計	390,000
経常費用計	3,011,000
当期計上増減額	△311,000
Ⅲ 経常外収益計	

1. 事固業定費資産売却益	0
經常外収益計	0
IV 經常外費用	
1. 事過業年費度損益修正損	0
經常外費用計	0
税引前当期正味財産増減額	△311,000
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期正味財産増減額	△384,000
前期繰越正味財産額	0
次期繰越正味財産額	0